

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-B3 美と健康		
テーマ責任者	真鍋 義孝	責任部局	医歯薬(歯学系)
対象学部	工学部・環境科学部		
趣旨	<p>現代社会は技術化、情報化が著しく進歩し、人々は便利で快適な生活を追及する一方で、環境問題や少子高齢化など種々の問題を抱えています。このようなライフスタイルの変化に対して、身体的・精神的・社会的な面での不適応から、人々は様々なストレスを抱え、そのストレスは徐々に大きなものとなり、知らぬ間に美と健康を損なっているのです。よって、病気の予防や健康の増進、安全な食品などに対応する願望は、国民的ニーズとして高まっています。健康とは、体や心がすこやかで、肉体的・精神的・社会的に調和のとれた状態のことです。また、「美しさ」は、外見だけではなく、体と心の健康があって初めて成り立つものだと考え、身体の内側と外側の両面から真の意味で美しく健康に生きるためには、健康・美・食・心を総合的に捉えていくことが必要です。このような背景を受け、私たちは健康で美しく、そして豊かな社会生活を営む上に必要な予防医学・先端医療のあり方、美と健康についての情報などを広く一般に提供し、健康の増進を図るために必要な知識を習得することを教育目標としています。</p>		
到達目標	<p>ヒトを含めた生物の遺伝の仕組み、細胞の代謝、神経系の機能を説明できる。科目Ⅰa「ヒトの生物学」          歯や脊椎動物の進化を通して人類進化の過程を説明できる。科目Ⅰb「歯の進化と人類学」          ヒトを取り巻く環境からのストレスをどのように対処・克服しているかを説明できる。科目Ⅰc「ストレスと健康」          幹細胞を用い実際に行われている先端医療・再生医療を説明できる。科目Ⅱa「先端医療・再生医療」          食に関連した人体の構造、機能とその異常疾患を予防医学的な観点から説明できる。科目Ⅱb「食の科学」          口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について説明できる。科目Ⅱc「口と疾患」          超高齢社会に対応した機能・形態障害の原因や診断・治療を説明できる。科目Ⅱd「口と健康」          美の歴史、美の表現、実際の美に関わる医療について説明できる。科目Ⅱe「審美」</p>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>前提知識は全く問いません。「美」と「健康」に広い興味や関心のある方、大歓迎です。細胞、生物(ヒト)、進化、ストレス、先端医療、老化、審美に関わる基礎的知識から専門(臨床)的知識の習得を目指して、担当の教員たちとコミュニケーションを図りつつ、他の学生さんと協働して学習を進めていくことに関心のある方は、ぜひ受講してください。</p>		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュールⅠ	(Ⅰa) ヒトの生物学	根本 孝幸 岡元 邦彰 岡田 幸雄	ヒトを含めた生物を理解するための基礎的な知識や概念を学習する。特に遺伝の仕組み、細胞の代謝、神経系の機能を理解する。美、健康、生命科学の問題に関してアクティブラーニングにて学習する。	遺伝子・タンパク質・細胞・感覚器・神経
	(Ⅰb) 歯の進化と人類学	真鍋 義孝 加藤 克知	歯の進化や脊椎動物の進化を通して、人類に到る進化の過程を知り、人類進化の方向性を理解する。さらに、日本人の起源や人類学の研究方法等についての知識を深める。	進化・起源・歯・脊椎動物・人類学
	(Ⅰc) ストレスと健康	中山 浩次 筑波 隆幸 内藤 真理子	ヒトを取り巻く環境からの物理化学的ストレスについて学習するとともに生命体としてそれらのストレスにどのように対処し、克服しているかについて理解する。	紫外線・活性酸素・感染・老化・神経系・内分泌系・免疫系・心
モジュールⅡ	(Ⅱa) 先端医療・再生医療	朝比奈 泉 住田 吉慶	再生医療の基礎となる生物の基本的構成・発生のしくみ、幹細胞について理解し実際に行われている先端医療・再生医療についての知識を深める。	再生医療・幹細胞・組織工学・発生・成長因子
	(Ⅱb) 食の科学	齋藤 俊行 北村 雅保 宮崎 敏博 久松 徳子	食べることは生きる事そのものである。その入り口である「口腔と歯」は生きる事の入り口である。食に関連した人体の構造、機能とその異常を示す疾患について、また栄養学的、予防医学的な観点から教養を深める。	口腔咽頭解剖学・摂食嚥下機能・栄養・肥満・メタボリックシンドローム・予防医学

(Ⅱc) 口と疾患	吉村 篤利 黒木 唯文 柳口 嘉治 郎	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解し、口の健康維持について必要な知識を健康増進に活かす。	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病
(Ⅱd) 口と健康	村田 比呂 司 鮎瀬 卓郎 山田 志津 香 小山 善哉	超高齢社会に対応する義歯による口腔機能の回復や、睡眠や呼吸機能障害の原因や診断・治療法について学ぶ。また、加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。東日本大震災での歯科医療支援活動についての意見交換も行う。	高齢化社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・アンチエイジング・災害支援
(Ⅱe) 審美	渡邊 郁哉 田上 直美 辻本 真規 佐藤 敬助	美とは何か、美学について美の歴史、美の表現についての理解を深め、実際の美に関わる医療についてどのようなことが執り行われているのかを学ぶことによって、QOLの向上に役立てる。	美・美学・審美歯科・ホワイトニング・顔面形態異常

全学モジュールの目標キーワード、および授業編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション力	英語コミュニケーション力	基盤的知識	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向	哲学的な切り口	歴史・略史を扱う	現代的な話題を取り入れる	アクティブラーニングの活用
(Ⅰa) ヒトの生物学	○	○	○		○		◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎
(Ⅰb) 歯の進化と人類学	○	○					◎	○	◎	○	◎		○		◎	○	
(Ⅰc) ストレスと健康	◎	◎	○		○		◎	◎	◎					○	○	○	○
(Ⅱa) 先端医療・再生医療	◎	○					◎		◎		◎	○				◎	○
(Ⅱb) 食の科学	○	○		○	○		◎	○	◎	◎	○	◎				◎	
(Ⅱc) 口と疾患	◎	○	○	○	○		◎	○	○	○	◎	◎	◎			◎	◎
(Ⅱd) 口と健康	◎		○		○		◎		○	○	◎	○				◎	
(Ⅱe) 審美	◎			○	○		○	○	○	◎	○	◎	○		○	○	○
◎(特に重視)の数	5	1	0	0	0	0	7	1	4	2	5	3	1	0	1	4	2
○(重視)の数	3	5	4	3	6	0	1	5	4	4	2	3	3	2	3	4	3

※工学部・水産学部に  
係る JABEE 項目